

# 航友会だより

目次	
昭和六十三年代理議員会報告	2
昭和六十二年事業報告	2
昭和六十三年事業計画	2
役員・代議員の改選	2
関東同窓会開催決定	3
沖繩支部だより	3
通信欄	4
不明者一覧表	4
編集後記	4

発行 中日本航空専門学校航友会事務局 〒501-32 岐阜県関市迫間1577 中日本航空専門学校内 ☎(0575)24-2521



学校施設全景(新たに増築された第三実習棟A、  
コンクリート舗装された試運転場B)

激動の昭和も過ぎ平成元年の新春が明け、私たちの中日本航空専門学校も昭和四十五年の開学以来、十九年目の春を迎えました。

この間、運輸大臣指定航空従事者養成施設(三等航空整備士・飛行機、回転翼航空機)の認定、岐阜県関市迫間への学校移転、航空電子機械科、航空技術科の新設、留学研究コースの開設とめざましい躍進を遂げました。

また、昨年は航空整備科へのヒューズ500ヘリコプター三機の導入、航空電子機械科が16ビットコンピューター教育システムの設置を開始しました。さらに航空技術科では、米國ハンズエアクラフト社から全金属性タンデム軽飛行機を購入し、三学科それぞれに特色のある教材設備の充実を目指しています。

さて、母校設立二〇周年を二年後に控えて、航友会活動の活性、充実を図るため役員会において活発な意見が交わられました。その一つとして新年度は関東地区同窓会の開催が決定されました。本号ではその他、新年度の事業計画、新同窓名簿の販売について等盛大くさんの内容です。これからも同窓生との唯一のコミュニケーションの場として会報作りに委員一同がんばってまいりますので、同窓生諸兄に対してもご協力をお願いします。

## 昭和六十三年年度

### 代議員会報告

六十三年十月十六日(日)、犬山市にて会長以下十三名の役員・代議員が出席し行われ、浅野敏美副会長を議長に選出して、六十三年度事業報告と決算、六十三年度事業計画と予算、役員・代議員の改選について審議し、以下のとおり承認されました。

### ◎昭和六十三年年度事業報告

- 1、航友会組織の強化拡充
  - (1)同窓会の開催——六十三年十一月八日(日)、名古屋市内にて参加者八十一名が集まり行われる。
  - (2)代議員会の開催——同窓会開催日同日に六十三年度代議員会が行われる。
  - (3)沖繩支部の活性化——会員数が二十八名となり、総会・同窓会を行い支部として活動する。
- 2、会報の発行——会報第4号を発行する。ただしこの事業は、発行時期が遅れ次年度の事業として繰り越される。
- 3、会員名簿の整理——六十一年度卒業生の住所調査、住所不明者の追跡調査、住所異動者の事務処理を実施する。
- 4、会員名簿の発行——六十一年度卒業

業生名簿(異動者および判明者名簿含む)を発行し、六十一年度卒業生に郵送する。

- 5、希望者に会員名簿を販売する。
- 6、六十三年度卒業生への記念品進呈卒業生三三五名に「名刺入れ」を卒業記念として進呈する。
- 7、準会員に対するPR活動——六十三年度入学生四三七名に対し、入会を祝い航友会組織を説明する。

### 昭和六十三年年度事業計画

益々発展し続ける母校は、来年創立二〇周年を迎えようとしています。この間、同窓生は航空界をはじめあらゆる産業界で活躍し、その成果が着実に評価されつつあります。そこで、今年度は以下の諸事業を計画し、会の運営を図っていきたくと考



### 昭和62年度会計決算報告

#### 【収入の部】

項目	金額	摘要
前年度繰り越し金	¥10,216,972	
会費	¥2,185,000	S63年度入学生437名
会費	¥243,000	同窓会参加費81名
寸志	¥50,000	教育後援会より
寸志	¥10,000	奥田客員教授より
名簿売上	¥9,720	
利息	¥216,210	定期利息
合計	¥12,930,902	

#### 【支出の部】

項目	金額	摘要
總會費	¥1,115,110	S62.11.8実施
会報発行費	¥0	
会議費	¥345,650	S62.11.8実施代議員会
支部設立援助費	¥100,000	沖繩支部援助費
同窓生名簿発行費	¥140,000	追加・改訂分の発行
会員名簿管理費	¥21,260	調査および電算処理
事業運営費	¥107,860	
通信費	¥42,060	
雑費	¥18,754	
卒業記念費	¥181,300	S62年度卒業生
小計	¥2,071,994	
次年度繰越金	¥10,858,908	
合計	¥12,930,902	

昭和63年10月12日 会計監査 今泉善孝・佐藤伸幸

えています。皆さんのご協力で同窓生相互の輪を広めようではありませんか。

(2)六十三年度卒業生に同期生名簿を郵送

- 1、航友会組織の強化拡充
  - (1)同窓会の開催——関東地区の同窓生の要望に応え東京にて開催
  - (2)代議員会・役員会の開催
  - (3)沖繩支部の活動強化
  - (4)関東支部設立の推進
  - (5)同期会等の支援
- 2、会報の発行
  - (1)会報第5号の発行
  - (2)六十三年度卒業生の住所調査
  - (3)住所不明者の追跡調査
  - (3)住所異動者の事務処理
- 4、会員名簿の発行
  - (1)六十三年度卒業生の会員名簿発行

### 役員・代議員の改選

六十三年七月末をもって任期満了となった役員・代議員は、全員留任しもう一期二年間航友会の運営に当たることとなりました。

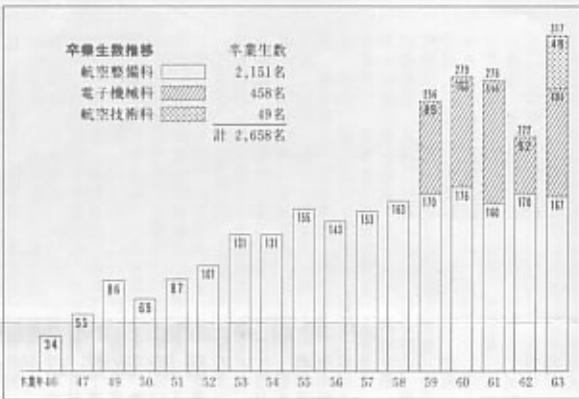
# 関東同窓会 6月11日(日)開催決定



会場：芝弥生会館2階(国際会議場)  
J R浜松町駅から徒歩7分

本年度の懇親会は、初めて地元を離れ東京で実施致します。これは以前から当地区での開催を希望する声が高かったのも理由の一つですが、現在卒業生が全国で二番目に多く(約七五〇名)在住する地域が関東であり、今後関東在住の同窓生が集まれる場(関東支部)を作っていくための第一階とすることをめざす。

懇親会の内容は、今までは趣向を変え、江南時代から岐阜県関市への移転以降現在までを、スライドを用いて振り返らせるアトラクションを企画しています。この中には皆様の懐かしい校舎、場所、人物が登場します。また旧教職員や関係の深かった人々の近況も掲示の予定です。ご期待ください。



▼企業別関東在住卒業生数ベスト5  
1位：ジャムコ(46名)、2位：全日本空輸(39名)、3位：日本エアシステム(31名)、4位：石川島播磨重工業(30名)、5位：日産自動車(21名)

### 沖縄支部だより

航友会沖縄支部は、平成元年一月二十一日に総会を開催しました。年末・年始の業務多忙な中、多数出席していただき支部長としても、感謝しています。総会では、新支部長に徳村水春君(航空整備科十五期卒)が選出され、平成元年度から新支部長を中心に活動することとなりました。

沖縄支部では設立三年目を迎え、運営の基礎固めをさらに強化していくとともに、沖縄在住同窓生の支部入会の推進をモットーにしていく方針です。支部だよりをご覧になって入会希望の同窓生がいましたら、ご連絡ください。

最後になりましたが、支部に対してのこれまでのご支援に感謝するとともに、これからも一層のご協力をお願いします。(平 信考)

通信欄

▼同期会の支援について

航友会組織の強化拡充の一環として、二十名以上の正会員が年一回同期会を実施する場合は、本会から一人当たり二千円の援助を出すことになりました。但し、今年度はテストケースとして行います。併せて同期会のレポート、写真等を会報委員まで、お送りください。詳細につきましては、航友会事務局までご一報ください。

新同窓名簿販売および不明者調査の依頼

昭和六十二年卒業生までの総合名簿が完成しました。ご希望の方は、本会報に同封の振込用紙にて申し込みください。申し込み先と価格は次のとおりです。

〔申込先〕 〒501-32

岐阜県関市追分1577

中日本航空専門学校

航友会事務局名簿係

☎(0575)24-2521

〔価格〕 1000円

名簿委員会では、毎年卒業生からの住所および勤務先の変更通知により、名簿発行の都度修正を重ねてまいりましたが、依然として下記の方々の住所が不明となっております。不明者の住

所等をご存じの方がいましたら、航友会事務局まで連絡くださるようお願いいたします。

連絡の折にはご面倒でも科・期別および組を連絡くだされば、事務処理を迅速に行うことが出来ますので、よろしく願います。

〔不明者一覧表〕

- (M1) 木村典夫、知念文、藤原茂、松本豊、山本正夫、(M2) 財津辰生、前田裕基、三好一雄、竹口日出美、吉田光孝、久田純治、(M3A) 阿山正明、伊藤盛夫、楠木信貴、住可亨、玉木好立、山口次男、比嘉舞一、藤村重義、松崎昇、(M3B) 伊藤喜喜、白崎一仁、因藤昭範、相馬仁司、寺内信夫、藤高薫、星野裕、松下修治、松山洋一、(M4A) 安部哲、出口周二、中畑英司、中村義文、村上巧、(M4B) 飯塚輝、伊藤秀規、大橋政秀、上出智章、笠原輝郎、辻博行、花田忠、神子素豊、(M5A) 足立正和、大瀧英彦、奥村謙次、島富章、鈴木秀明、高島祥規、武田幹彦、高村明利、中村秀、中村憲一、仲木博、林武司、北藤一晴、松本康生、森口和宏、米山尚樹、若山治雄、(M5B) 杉田卓雄、一宮浩章、大城盛宣、小橋川伸安、石川輝生、中智、武智好則、中村昌幸、長田秀男、藤井健志、藤井昇、星野敏、堀場幸一、丸谷孝之、望月純一、森竹龍彦、森山光博、吉沢邦一、渡部重徳、(M6A) 志賀須克則、堀見康博、鈴木光一、田代知徳、常田晴夫、錦谷成高、深見文男、長谷川均、近田孝治、早矢仕守男、深見定治、前田好徳、の場伸一、三原慎一、山形茂、山田明弘、(M6B) 浅田忠志、阿南節司、井村圭、稲嶽嘉宏、若水正親、浦中泰志、大賀健次、川嶋浩、萩原光博、佐藤尚武、高田輝人、多和田政治、萩井、山下弘、(M7A) 菅原勇、中西康仁、新野好徳、古川昇雄、前田耕一、藤元二、川口邦夫、佐々藤英、大谷雄二、柴田英介、鈴木芳雄、砂田一美、竹田政則、水瀬隆幸、半沢正昭、木村伸宏、光本忠介、村瀬正明、羽田満、(M7C) 赤井一郎、天野孝、藤元乃、井戸裕之、上野辰也、神原正昭、喜屋武康彦、功野雅治、斎藤忍之、佐藤孝二、下地義彦、田中洋次、近成久司、徳岡敏行、成宮秀徳、西芝浩、横山清英、広瀬東志、宮里政善、(M8A) 伊関隆、小田富士夫、楠元道夫、清水博、(M8B) 赤沢一博、石川明博、岩切純一、奥村茂樹、田代荘一、野津泰、前

- 田敷、馬上由良、山越敏、(M8C) 清水時、深山忠実、(M9A) 秋山昭信、荒川義光、河野邦宏、(M9B) 池田至昭、今津治治、浦上了可、柿岡広志、神谷弘幸、藤原英仁、新留正司、水瀬敬彦、成瀬京司、福田重明、松井直人、水口茂、黄島三福夫、箕輪万吉、宮保信、柳道隆司、(M9C) 市岡栄司、金子正広、全城弘昭、佐藤七郎、中釜忠夫、中村晃加田敦仁、野村孝、久田洋一、和田貞起、(M10A) 石塚満、今井祥隆、岩戸八一、上松裕之、加藤雅之、川下和也、小林則人、堀見千泉、正田祐司、和田昭也、松田吉夫、安江宏也、(M10B) 大仁秀男、美谷巧、三枝正也、土松功、宅間啓一、竹中義孝、竹本勝美、土川浩成、中島一港、西平田康博、松水雄司、松波秀明、真島作衛、三浦和久、山崎公広、(M10C) 植田武志、園本洋一、刈川幸久、高田順弘、谷口哲三、野瀬忠義、橋本義久、松本昭昭、(M11A) 針良文敏、河野浩二、志岐昌利、鈴木義晴、山本博則、山田康成、吉川平八郎、渡辺和行、(M11B) 秋田敏夫、新井正和、石井暢義、萩平一之、久保田主税、小迫泰平、白石浩幸、鈴木孝昌、高木千里、田中義郎、知名剛、浜岡哲治、平井万弘、水上陽一、光水真二、三橋直一、宮城康、森清明、山下肇一、(M11C) 岡崎昭信、長徳一、木村真三、白石栄一、白川裕、田中雅博、中村秀浩、増田重、山口剛志、(M12A) 井関俊平、巨海直行、里内寛人、時嘉康、長浜剛一、林義則、日野辰俊、福元敏之、藤原卓、福川秀一、三保博之、山本豊宏、(M12B) 佐藤毅、田中秀典、加島博行、長島明司、中山由典、野村正弘、藤田潤、藤野武之、前田亨高、関下博文、藤山直紀、山下郁二、(M12C) 池上圭彦、恩智浩司、島田泰海、戸田倫治、富田孝、徳木浩久、高中秀則、北野修一、森屋敏久、(M13A) 石田直樹、今村裕孝、白男川光一、玉川和行、長野剛、山田泰嗣、(M13B) 内長伸一、大井一三、河野英一、座古忠一、(M13C) 青木克志、奥宮清夫、菊地信彦、(M13D) 川口下山暢、高橋成敏、藤田芳彦、(M13E) 川口久保道、久保道明、永木哲夫、中谷和生、野本英晃、村松一生、山崎久久、(M14A) 磯部清典、藤巻敏士、元木康次、角田雅彦、岡本幹彦、渡辺一雄、(M14B) 兼子正親、久保田大繁原隆二、竹下章人、田中幹夫、土井善孝、野々山敬、松江俊興、豊田佳昭、藤澤紀樹、山根裕之、(M14C) 石戸正志、藤本秀也、中森康司、(M14D) 大隅和人、岡村篤巳、沖則行、林勇夫、山岸高志、(M15A) 今村武士、川上政男、柴原武仁、長濱津留、久松昭一、山越茂彦、福原栄三、松下博樹、(M15B) 河野寛、石橋徳元、柴田敏樹、(M15C) 沖野裕三、川原孝博、松田剛英、滝口知博、瀧本則行、田中正邦、林栄一、日江井重治、町田宗光、

Ⅱ 編集後記 Ⅱ

元号が昭和から平成にかわり、一つの時代が終わわり、新たな時代の幕明けを感じるのですが、航友会だよりも、紙面の構成等を一新し、新たな「航友会だより」として発刊することとなりました。評価は皆さんに判断していただくとして、何はともあれ平成元年における第一号が完成したことにホッとしております。内容についてもこれから、もっとバラエティーに富んだ記事を掲載していこうと委員一同張り切っておりますので、皆さんからのご意見、ご要望もどしどしお寄せください。お待ちしております。